

アカデミックミネ特別授業 ～東日本大震災から4年～

3月13日(金) 13:00～15:50 家庭経営室 (224教室)

東日本大震災(2011.3.11)発生の翌年から、3学期末考査後のこの日に特別授業を開催し今年で4年目になります。東日本大震災をテーマにして、校内外のいろいろな人に震災に関わるお話をしていただき、地震、放射線、復興、被災地支援やボランティアなど、震災に関わって広く学べる特別な授業です。参加申し込みは不要、途中参加もOK。ぜひ気軽に参加してください。

●13:00～14:05 講演 1

上田義勝先生 (京都大学生存圏研究所)

『福島県での復興支援研究 (除染や農業支援)』

「東日本大震災から4年が経ちましたが、地震や原発事故で現在でもまだ大変な状況は続いています。私たちは、今回の事故や、将来起こりうる事故に備えて、人の役に立つ研究を大学でできたらと思い、今も福島で研究をしています。今回は現地での実験を交えて、2011年からどんなことをしてきたかお話ししたいと思っています。」

●14:05～14:30 校内の先生・生徒のお話

藤原あい先生 (本校家庭科教諭)

『いのちを守る家庭科～被災地訪問を通じて～』

柴田 鼓さん (本校3年)

『“ふくしま・こどもキャンプ”に参加して』

本校生徒会執行部

『陸前高田市図書館ゆめプロジェクト』



被災地ボランティアの報告(今年の特別授業)

●14:30～14:50 ティータイム (お茶とお菓子を頂きながら)

- ・実験コーナー (放射線を見る、測る)
- ・丹後震災などの解説と写真の展示
- ・被災地の5万分の1の地形図
- ・岩手県陸前高田市の写真の展示



実験コーナーで放射線を見る(今年の特別授業)

●14:50～15:50 講演 2

松原典孝先生 (兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科)

『北但馬地震・北丹後地震・鳥取地震～3つの震災と山陰海岸ジオパーク～』

1927年3月7日。網野町郷を震源に地震発生。丹後では1万戸以上の家屋が倒壊し2925人の方が亡くなり、本校のある峰山の町は一面の焼け野原になりました。その2年前には豊岡を震源とする北但馬地震(死者428人)、また1943年には鳥取地震(死者1083人)が発生しました。山陰海岸ジオパークのエリアは3つの震災の被災地と重なっています。震災とジオパークについてお話をさせていただきます。